

最優秀賞

木製品部門

HINOCO (ヒノコ)

製造: 柏木工 株式会社



【製品の概要、基本情報】

品目名 | ツール
サイズ | 縦330×横450×高さ400mm
販売金額 ※金額については事業者までお問い合わせください。
重量 | 3.5kg 県産材使用量 | 3.5kg
販売方法 | 柏木工直営ショップ (東京・横浜・名古屋・大阪・福岡・高山) や
柏木工オンラインストア等で販売中。また、高山市ふるさと納税返礼品
として出品しています。

【製品が生まれた背景】

岐阜県を代表する木材・東濃檜。檜は密度では広葉樹に劣るものの、伐採から徐々に強度を増す特性や、美しい木目と芳香から特別な建築に使われてきた素材です。現状、弊社商品は使い慣れた輸入広葉樹が主であり、木質特性の異なる針葉樹主体の県産材を有効利用できずにいました。

この魅力ある素材を自宅や旅先でお客様に楽しんで頂きたい思いと、地域性生産物の価値を伝える弊社家具生産の新たな一歩目とするべく、本製品の企画・デザインにあたりました。HINOCOは、優れたものを意味する「檜 / ひ」から生まれた小さな「子 / 存在」、県産の素材や価値を伝えるきっかけ「ひのこ」になって欲しいと思います。

【デザインの経緯とその成果】

東濃檜の魅力を「家具」として提案するにあたり、既存家具の素材変更ではない「檜の家具」を目指しました。家具用材として東濃檜を再度検証し、曲木に向く特性や面で使用することで木目の美しさが際立ち、構造強度も確保しやすことが分かりました。檜の薄板による2種類の部品で、椅子に求められる強度・耐久試験の基準をクリアし、結果的に地元製材所の建材端材も活用できました。座面は手削りした形をNC切削で再現、左右同形状の曲木は着座時の足の収まりからテーパーに組み、平行な接着面を構成するための3次曲面となっています。持ち手を兼ねたアーチ上部の継ぎ目には、その時々で手に入る県産広葉樹の木釘を打ち込んでいます。檜板に突き刺さる木釘は接着面積の増加と部品構成を視覚的に強調します。機械と職人の技術を使い分けることで量産可能な、県産材や地場産業の魅力があふれる新しい家具が生まれました。

【県産材利用や地域活性化等に対する取り組み】

- ・ 県産材 (国産材) の造形美・機能美追求と流通拡大による森林資源の循環促進を目指しています。
- ・ 端材を使った商品の開発やロス削減活動など、木材資源を積極的に有効活用しています。
- ・ 廃棄物の発生抑制や再資源化を推進しています。製品を製造する際に生じた木くず類は構内ボイラーにて燃焼し、木材乾燥や曲木などに使用する熱源として再利用しています。
- ・ 檜の薄板による2種類の部品で、椅子に求められる強度・耐久試験の基準をクリア。左右分割された薄板形状とすることで、1m前後の短い建材端材などを有効活用できるようになり、地元製材所の建材端材を活用することができます。
- ・ 針葉樹主体の県産材という魅力ある素材を自宅や旅先でお客様に楽しんで頂きたい思いと、地域性生産物の価値を伝える弊社家具生産の新たな一歩目とするべく、本製品の企画・デザインにあたりました。
- ・ 製品の生産は全て高山市内工場で行い、関係する製材会社や機械等の地域産業を巻き込み製造しています。



▲曲木に適した節の無い、特別な建築用の薄板を使用します。



▲シンプルに見えて、わずかにすり鉢状にカーブさせた曲木板。



▲独特の加工工程を経て、徐々に成型されていきます。



▲座面の複雑なカーブはマシン切削機で粗削りします。



▲シート裏面に焼き印を施し、組み立て工程に移ります。



▲木釘をしっかり打ち込み研磨した後、塗装工程を経て完成です。

令和6年岐阜県木の国・山の国県産材利用促進表彰